

## 令和7年度 西成区 こども・教育関連事業の実施について

1. 西成区こども生活・まなびサポート事業 重点施策推進経費 (令和7年度 予算額 145,859千円)

## (1) 事業概要

西成区内の小中学校に在学する児童生徒のうち、家庭生活面等で課題を抱えるサポートが必要な児童生徒に対し寄り添い型の支援を行う支援員や有償ボランティアを配置する。不登校の状況に応じた支援を行うことで、「不登校の実質ゼロ」を目指す。また、小学校低学年の児童に対して授業中や休み時間等に寄り添い支援を行い、児童の学習姿勢を定着させ、学習習慣の定着、不登校の未然防止につなげる。

## (2) 実施内容 (支援員等の配置状況)

	区登校支援・見守り支援員	区居場所支援員	区学習姿勢向上支援員 区低学年サポーター
対象校	区内 16 小中学校	区内 1 中学校 (今宮中)	区内 10 小学校
主な対象者	家庭生活面などで課題を抱える児童生徒 (特に不登校の児童生徒)	学校に通うことはできるが教室に入ることが難しい不登校の児童生徒	小1 プロブレムなどが原因で学習姿勢が身につけていない小学校低学年の児童
配置人数 配置時間	各小中学校に 1 名 (計 16 名) (1日7時間45分勤務 週5日)	モデル校の 1 中学校に 1 名 (1日7時間45分勤務 週5日) ※教育委員会事務局事業で、天下茶屋中、南津守小でも同様のスタッフを配置	【支援員】 各小学校に 1 名 (計 10 名) (1日7時間45分勤務 週5日) 【サポーター (有償ボランティア)】 各校年間 1,050 時間 1 時間あたり 1,200 円の報償金
資格	小学生又は中学生の指導や支援経験がある者 など	小学生又は中学生の指導や支援経験がある者 など	【支援員】 保育士又は幼稚園教諭の資格を有し、保育園等での勤務経験がある者 【サポーター (有償ボランティア)】 教員を目指す大学生等を想定
業務内容	・ 電話・家庭訪問などにより児童生徒の登校を促す登校支援 ・ 学校にほとんど通うことができず、家から出られない児童生徒に対し、児童生徒の自宅を訪問し、学習、進路指導、相談対応など、不登校による不利益を生じないような支援を行う訪問支援	学校に通うことはできるが教室に入ることが難しい児童生徒に別室など校内の居場所を確保し、学びの場に定着できるように見守りを行う校内適応指導教室 (スペシャルサポートルーム) における支援	小学校低学年の児童が学習に向かえるように支援する学習姿勢向上に向けた支援

スケジュール	<p>(各支援員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学期末に全体集合研修（意見交換会）を実施。（7月31日、12月、3月）</li> </ul> <p>(登校支援・居場所支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学期末に不登校に関する調査を各小中学校に依頼。（7月9日、12月、3月）</li> </ul> <p>(学習姿勢向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初及び各学期末に学習姿勢に関する調査を各小学校に依頼。（4月8日、7月8日、12月、3月）</li> <li>・各学期中に授業の状況確認と打合せなどを実施。（6月10日：長橋小、6月12日：新今宮小、11月6日：長橋小学校、12月3日：橘小学校、12月4日：千本小学校）</li> </ul>
--------	--

### (3)進捗状況

・登校支援や登校後の寄り添い支援を行うことにより、令和7年度の1学期末時点では、令和6年度の1学期末時点と比べて、区内小中学校ともに不登校在籍率が減少している。不登校在籍率が3学期末にかけて増加する傾向があることから、引き続き、登校支援・見守り支援員及び居場所支援員の有効な活用をお願いしたい。

・令和7年度の年度当初に比べて1学期末時点では、担任による学習姿勢の評価のうち「座って学習できている」の項目は向上しており、「学習活動に参加している」及び「担任の話を聞いている」の項目については、横ばいであった。3学期末に向けて、更に学習姿勢が向上できるよう、11月6日、12月3日、12月4日に学習姿勢向上支援員（3小学校）の活動状況を確認し、打合せ等を行った。

## 2. 外国につながる児童生徒の学習言語定着支援事業 重点施策推進経費

(令和7年度 予算額 9,050 千円)

### (1) 事業概要

学習言語が定着しておらず、学力に課題がある帰国・来日等の児童生徒に対して、母国の学校では学習していない内容や、生活言語を習得するまでに授業を受けたため十分に理解できていない内容などの補充学習を行い、教科学習を通して日本語指導を行うことにより、教科等の学習に必要な言語の能力である学習言語の習得を促進し、学力向上につなげる。

### (2) 実施内容

対象者	区内の小学校4年生～中学校3年生のうち、日本語指導教育センター校を通級終了程度の生活言語を習得した児童生徒。【日本語能力検定N4(一部)～N5程度のレベルを想定】 また、日本語指導教育センター校に通級中であつたとしても、日本語で簡単なコミュニケーションが取れるなど生活言語をある程度習得している児童生徒も受講可能。【日本語能力検定N5程度のレベルを想定】 ※講師は日本語で学習支援を行うため、児童生徒にはある程度の生活言語を習得していることが必要となるため、入塾に先立ち受講希望者の日本語習熟度を把握するために日本語能力試験を実施する。	
申込方法	学校が受講者を推薦する。	
定員	36名	
科目	算数(数学)、英語、社会、理科から児童生徒の学習状況に応じて1教科を選択する。 ※国語は必須教科。	
実施内容	児童生徒1～2名に対して講師を1名配置し、個別の学習指導を行う。	
受講時間	小学生は100時間、中学生は150時間実施 ※中学生は、在籍校の授業や定期テストの課題など、現在進行形で困っている学習の手助けをする時間を設け、本事業に参加する意味づけを高める。	
授業料	無料	
場所	岸里小学校 水曜日：小学生 17:30～18:30、中学生 18:40～20:10 // 金曜日：小学生 17:30～18:30、中学生 18:40～20:10 鶴見橋中学校 火曜日：小学生 17:30～18:30、中学生 18:40～20:10 // 木曜日：小学生 17:30～18:30、中学生 18:40～20:10	
スケジュール	令和7年4月8日(火)	小中学校の実務担当者向け事業説明会を開催
	5月7日(水)	岸里小学校で授業開始
	5月8日(木)	鶴見橋中学校で授業開始
	11月中旬	実力テスト(1回目)実施
	令和8年2月中旬	実力テスト(2回目)実施

## (3)進捗状況

- ・各学校から受講者を推薦していただき、定員 36 名に対して、小学生 23 名、中学生 6 名の合計 29 名が参加しており、そのうち約 6 割が昨年度から継続して受講している。(10 月末現在)
- ・授業では、配付している教材についている單元ごとの確認プリントや、前回の授業の重要事項をまとめた確認テストを定期的実施しており、受講者の苦手な部分については、講師が工夫した指導を行うなど、各教室での授業は概ね問題なく進行している。

### 3. 学力分析に基づく演習を活用した苦手分野克服事業 重点施策推進経費 (令和7年度 予算額 8,358千円)

#### (1)事業概要

中学校の学力診断検査や高校入試の本番を想定した模擬テストを通じて、生徒の苦手分野を把握し、生徒にフィードバックすることで自身の課題を認識させるとともに、苦手分野の反復演習をすることで、個人の学力向上を図り、ひいては学校全体の学力の底上げを図る。

#### (2)実施内容

対象者	区内中学生（1～3年生）	
科目	国語、数学、理科、社会、英語	
受験料	無料	
スケジュール	令和7年4月1日	受託事業者と契約締結
	4月15日	学校向け事業説明会を開催
	4月15～18日	デジタルドリルの更新及び新規登録後から利用開始
	5月下旬～6月	中学校3年生 模擬テスト受験
	7月4日	模擬テスト結果の返却及び演習問題（二次元コードリンク集）を配付し、テスト結果に基づく苦手分野の学習開始
	9月2日	3年生チャレンジテスト実施
	9月上旬	3年生のデジタルドリル活用状況について既習管理情報を学校へ提供依頼（効果検証用）
	11月下旬～12月	中学校1、2年生 模擬テスト受験 演習問題（二次元コードリンク集）を配付し、模擬テストと同様の単元問題の学習開始
	令和8年1月14日	1、2年生チャレンジテスト実施
	2月2日	模擬テスト結果の返却
	2月下旬	1、2年生のデジタルドリル活用状況について既習管理情報を学校へ提供依頼（効果検証用）

#### (3)進捗状況

- ・12月2日より中学校1、2年生の模擬テストを実施中。
- ・テスト終了後に演習問題（二次元コードリンク集）を配布し、デジタルドリルを活用して模擬テストの復習を行う。

#### 4. 発展型学習支援事業(拡充) 重点施策推進経費 (令和7年度 予算額 23,284千円)

##### (1) 事業概要

家庭の経済状況の如何に関わらず本人が志望する水準の高等学校への進学ができるように、成績中上位層を中心とした学習意欲のある生徒に対して、発展的な内容の学習機会を提供することによって更なる学力向上を図る。

##### (2) 実施内容

対象者	区内の小学校5、6年生(定員140名)及び中学生(定員80名)
入塾テスト	学力に応じた事業への参加を促進するため入塾テストを実施し、発展的な学習授業を提供する。
科目	(小学生)国語、算数、英語 (中学生)国語、数学、英語 ※中学校3年生の長期休業中に理科・社会
時間数	(小学生)年間100時間 (中学1、2年生)年間150時間 (中学3年生)年間190時間(うち理科・社会が40時間) ただし、中学生は成績上位の高等学校に合格するには反復演習等が重要であり、授業で学習した内容を反復学習させるため、多くの宿題を課して家庭学習に取り組む時間を150時間以上設定し、学習時間を300時間以上確保する
授業料	無料
外部模試	五ツ木の模擬テストを1、2年生は年1回、3年生は年2回無料で受験できる
場所	(小学生)天下茶屋小学校、岸里小学校、玉出小学校、千本小学校、橘小学校、まつば小学校、長橋小学校、北津守小学校、南津守小学校、新今宮小学校 (中学生)成南中学校、梅南中学校
スケジュール	令和7年1、3月 事前周知チラシ配付(第1弾、第2弾) 4月1日 受託事業者と契約締結 4月 募集チラシを配付、学校訪問、入塾テスト 5月 授業開始、受講者1回目の実力テスト 6月 事前周知チラシ配付(第3弾) 7月 募集チラシを配付(2回目)、入塾テスト 9月 最終募集を周知(3回目)、入塾テスト、 受講者2回目の実力テスト 10月 1回目及び2回目のテスト結果提出(効果検証用) 12月 受講者3回目の実力テスト(中学3年生) 令和8年1月 次年度事業の事前周知(第1弾) 2月 受講者3回目の実力テスト(小学5、6年生、中学1、2年生) 3月 次年度事業の事前周知(第2弾)

## (3)進捗状況

- ・ 9月に最終の受講者を募集し、申込者は小学生6名、中学生は18名。入塾テストを行い、合格者は小学生2名、中学生は8名。受講者合計は62名（うち退塾者3名）、中学生42名（うち退塾者2名）。
- ・ 中学生は10月、小学生は11月に実力テストを行い、効果検証を実施。
- ・ 五ツ木の模擬テストを中学3年生は11月と1月、中学1・2年生は2月に受験予定。（受験料無料）

5. 西成区基礎学力アップ事業(西成まなび塾) 区長裁量予算 (令和7年度 予算額 143千円)

## (1)事業概要

区内の小学校5、6年生及び中学生に対し、小中学校校舎等の公共施設を活用した塾等事業者による課外授業(補習)を実施する。

## (2)実施内容

対象者	区内の小学校5、6年生及び中学生	
科目	(小学生)国語、算数(中学生)国語、数学、英語	
授業料	月額1万円(塾代助成カード利用可)	
場所	(小学生)北津守小学校、たちばな会館、玉出老人憩いの家 (中学生)鶴見橋中学校、たちばな会館、玉出老人憩いの家	
スケジュール	令和7年4月	参加者募集チラシを区内小学校5、6年生と中学生に配付
	7月	参加者募集チラシを区内小学校5、6年生に配付
	9月~11月	小学校で体験会を実施
	12月	次年度事業の事前周知

## (3)進捗状況

- ・8月に区内6小学校に体験会チラシを配布。申込があった橘小学校と岸里小学校で体験会を実施。

## ・受講者数

小学校5、6年生参加者(10月末時点)合計15名

北津守小学校 5名、たちばな会館 3名、玉出老人憩いの家 7名

中学生参加者(10月末時点)合計66名

鶴見橋中学校 24名、たちばな会館 20名、玉出老人憩いの家 22名

## 6. 基礎学力向上支援事業(西成ジャガピースクール) 区長裁量予算 (令和7年度 予算額 8,332千円)

### (1) 事業概要

区内小学校3、4年生に対し、夏休みや平日の放課後、冬休みを利用し、小学校で塾等の事業者による課外授業を実施する。

### (2) 実施内容

対象者	区内の小学校在学の3、4年生	
定員	前期：264名、後期270名	
日時	3、4年生：年間45時間 うち、前期（6月～夏休み終了）20時間（夏休みや平日の放課後を中心に実施） 後期（2学期開始～2月）25時間（平日の放課後や冬休みを中心に実施） を基本に学校ごとに個別調整	
科目	国語、算数を重点的に実施 学校の希望に合わせて宿題サポートの実施	
スケジュール	令和7年4月1日結	受託事業者と契約締結
	4月14～18日	学校と事業者の打ち合わせ
	4月30日～5月16日	全小学校3年生にジャガピースクール体験会を実施
	5～6月	参加者募集、理解度テスト実施
	6月10日～	前期参加者追加募集随時受付
	6月24日～	後期参加者募集（～7/17）
	6～9月	業実施（前期）
	9～2月	事業実施（後期）※後期からの参加も可能、
	9月上旬	1回目の実力テスト実施
	令和8年2月	2回目の実力テスト実施

### (3) 進捗状況

- ・ 10月末現在、後期の募集では定員が270名に対して、225名参加。（うち6名退塾）
- ・ 9月に実力テストを実施し、3年生は最初の理解度テストから国語と数学で45%、4年生は58%受講者の学力が向上していた。

7. 学習支援サービス(マイクロステップ・スタディ) 区長裁量予算 (令和7年度 予算額 405千円)

## (1)事業概要

個人にあった問題を出題する機能を持つeラーニングサービス「マイクロステップ・スタディ」を導入し、効率的に児童一人ひとりの学力や語彙の定着率を踏まえながら語彙力の向上を図り、誰も取り残すことなく学力と意欲の向上を図る。

## (2)実施内容

対象者	北津守小学校3～6年生	
科目	漢字の読み	
方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各クラスが授業時間等の毎日5分～15分の時間を利用し、児童の学習者用端末も用いて学習を行う。</li> <li>・潜在記憶理論に基づく学習法（4段階回答方式）及び（※）独自のフィードバックシステムの採用。</li> </ul> <p>※ 学習した内容を潜在記憶が確実に積み重なっていることをグラフにし、学習履歴及び個人の成績の変化を可視化したもの。</p>	
スケジュール	令和7年4月	次年度の新3～新6年生の児童管理番号を受託事業者（岡山大学）へ提供
	5月～3月	ライセンス付与後、学習開始
		7月、10月、12月、3月に学習データを岡山大学から提出

## (3)進捗状況

- ・7～9月末の学習データから5年生が非常に多くの学習に取り組んでいる。
- ・市内一斉実施の学力テストにおいて、当該学年の国語科の漢字の正答率が昨年度より大幅に上がったと実施校から報告あり。12月に岡山大学とともに実施校でより詳細な状況を伺う予定。

## 8. プレーパーク事業 区長裁量予算（令和7年度 予算額 22,153千円）

### (1) 事業概要

魅力ある子育て環境を創出することで西成区に対する偏見やマイナスイメージを払拭し、西成特区構想でめざす子育て世代の誘引・定着への動機付けの一端を担う場となるべく子どもの生きる力を育む居場所であるプレーパークを実施する。

### (2) 実施内容

#### ○プレイス型（にしなりジャガピーパーク）

元来のプレーパークとしての「遊び場」だけでなく、こどもが課題を克服できる場として、学習支援を行う「学び場」、自己肯定感を高めることができる「たまり場」の3機能の形成を図り、それぞれの場が有機的に連携することで「生きる力」を育むこどもの居場所としてのプレーパーク事業を実施する。

開催日	土日祝日及び長期休み中の平日（計 54 日間）
開催時間	10 時～17 時（冬季は 10 時～16 時 30 分）
場 所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もと松之宮小学校校庭（1 ヶ月に 1 回程度）</li> <li>・もと今宮小学校運動場用地（1 ヶ月に 1 回程度）</li> <li>・もと松通保育所所庭（1 ヶ月に 2 回程度）</li> <li>・区内公園 など（開催回数制限なし）</li> </ul>

#### ○体験型（ジャガパーわくわくクラブ）

体験活動により子どもの好奇心を刺激し物事への興味や関心を広げ、ひいては学習意欲も引き出すことを目的として、理科実験教室やプログラミング体験、その他体験講座（運動・文化芸術）などの子ども学び体験イベントを実施する。また、令和7年に区制 100 周年を迎えるため、子ども向け記念イベントも実施する。

#### 【子ども体験活動】

開催日	土日祝日及び長期休み中の平日（計 18 日間）
開催時間	10 時～15 時
場 所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西成区内小学校体育館・運動場・多目的室等（各学校 年に 1～2 回程度）</li> <li>・西成区役所庁前広場・区民ロビー など（開催回数制限なし）</li> <li>・区内公園 など（開催回数制限なし）</li> </ul>

#### 【区制 100 周年記念イベント】

開催日	令和7年 11 月 16 日（日） ※西成区民まつりと同時実施
開催時間	12 時 00 分～16 時 00 分
場 所	ノア・フットサルステージ天下茶屋

## (3)進捗状況

## (プレイス型)

- ・もと松之宮小学校 12 日、もと今宮小学校 6 日、もと松通保育所 15 日、計 33 日間開催し、平均来場者数 55 名（10 月末時点）。
- ・5/31 は子ども元気まつり（松通公園）と同時開催し 234 名来場。
- ・7 月～9 月はウォーターパークとして板プールを設置するなど水遊びを中心とした開催を行った。

## (体験型 わくわくクラブ)

- ・区内小学校で 6 日間開催し、平均来場者数 63 名（10 月末時点）。

開催場所	開催日①	来場者数①	開催日②	来場者数②
玉出小学校	7 月 12 日	96 名	11 月 8 日	集計中
橘小学校	7 月 13 日	75 名	—	—
まつば小学校	9 月 13 日	63 名	10 月 26 日	52 名
天下茶屋小学校	9 月 14 日	44 名	11 月 24 日	集計中
新今宮小学校	10 月 13 日	49 名	—	—
千本小学校	11 月 2 日	集計中	—	—
南津守小学校	11 月 3 日	集計中	—	—
長橋小学校	11 月 29 日	集計中	—	—
岸里小学校	12 月 7 日	—	—	—
北津守小学校	12 月 13 日	—	—	—

- ・1 月以降区役所等で開催予定。

## (体験型 記念イベント)

- ・11 月 16 日に西成区制 100 周年記念イベント「ジャガパーわくわくクラブ SP」を開催し、理科実験ショー、ワークショップ（スプレーアート、タップダンス、カップスタッキング、工作体験教室、ドローン体験など）、ミニゲーム（射的、手形アート、子育て謎解きゲームなど）を実施。来場者数 881 名。

9. 西成区こどもの読書活動推進支援事業(拡充) 【小・中学校】校長経営戦略支援予算(区担当教育次長執行枠)・  
【未就学児】区長裁量予算(令和7年度 予算額 390千円)

## (1) 事業概要

読書活動を行うきっかけづくりとして、年間の読了冊数に応じて賞状を贈呈する。なお、対象となる本は、学校図書館・西成図書館・移動図書館で貸出されているものとする。

今年度からは、未就学児が早い段階から読書に親しんでもらえるよう、家庭でえほんの読み聞かせを行った未就学児とその保護者に対しても賞状を贈呈する。

## (2) 実施内容

対象者	区内小・中学校に在籍する児童生徒 区内公立保育所及び幼稚園に在籍する未就学児とその保護者	
年間目標	小学校1年、2年 100冊 小学校5年、6年 50冊 未就学児 20回	小学校3年、4年 70冊 中学校1年～3年 25冊
スケジュール	令和7年3～4月 7～8月 令和8年1月 2月 3月	読書カードを児童生徒へ配付(必要校のみ) <u>えほんよみきかせカードを未就学児へ配付</u> 集計依頼・ふりかえりシートの送付 読書(読み聞かせ)数を集計 目標達成者等へ賞状授与・学校等で区長表彰(希望する学校等) (最多読書賞も学校訪問時に表彰)

## (3) 進捗状況

- ・ 令和7年4月～令和8年1月は、読書(読み聞かせ)活動の取組期間。
- ・ 令和8年1～2月に報告書の提出を求め、集計予定。

## 10. キャリア教育推進支援事業 校長経営戦略支援予算(区担当教育次長執行枠)

(令和7年度 予算額 261千円)

### (1)事業概要

西成区内在学の中学生を対象に、様々な分野で活躍するゲストティーチャーとの交流や講義を通して、ゲストティーチャーがどのような進路を選択し、どのような方法でその職業に就いたのかを学ぶなど、生徒が具体的な進路や将来の職業について考える機会を提供する。この機会をきっかけに、生徒が自己の進路を決定し、その目標に向かって学習や運動に取り組むことにより、学力や体力の向上につなげることを目標とする。

### (2)実施内容

大阪市と連携協定を締結したプロスポーツチームよりゲストティーチャーを招く	
令和7年度実施校	今宮中学校・成南中学校・鶴見橋中学校
スケジュール	令和7年3月 学校にキャリア教育を実施する団体等の希望調査 令和7年4月～ 実施に向けた調整 6月～3月 事業実施

### (3)進捗状況

- ・ 令和7年7月7日 成南中学校にてサントリーサンバーズ大阪のキャリア教育を実施。
- ・ 令和7年7月10日 今宮中学校にてオリックスバファローズのキャリア教育を実施。
- ・ 令和7年9月26日 鶴見橋中学校にてサントリーサンバーズ大阪のキャリア教育を実施。

## 11. 大阪フィルハーモニー交響楽団出前授業事業 区長裁量予算（令和7年度 予算額 1,400千円）

### (1) 事業概要

区内小中学校の児童・生徒がプロの演奏に触れ、大阪フィルハーモニー交響楽団を身近に感じてもらうことで、地域への愛着や誇りをはぐくむとともに、楽団員の楽器との出会いや成功体験などを聞くことで、将来の目標を見出していける人材の育成をめざすことを目的として実施。

### (2) 実施内容

対象者	区内小学生、中学生
実施校	2年間で各小中学校訪問 ○令和7年度実施校 天下茶屋中（6/9）・玉出中（7/10）・梅南中（6/30）・天下茶屋小（6/23）・玉出小（5/26）・橘小（4/28）・まつば小（5/12）・南津守小（6/27）
場 所	各小中学校
内 容	各校の要望に合わせ、1～2コマ連続で実施

### (3) 進捗状況

全8校実施済み

#### 【参考】

9月13日（土）「西成オーケストラ鑑賞会 2025」に区内在住の小学校4年生～高校生とその保護者を無料ご招待。場所：大阪フィルハーモニー会館

## 12. 西成しごと博物館について

（大阪府中小企業家同友会南東ブロック西成住之江支部と協働実施事業）

### (1) 事業概要

西成区や近隣の子どもたちに、地元の企業の仕事内容を理解してもらうことで、働くことの大切さや面白さを感じてもらい、地元で誇りと愛着を持っていただくことを目的として区内の企業に出展していただき、仕事見学・体験を行う。

### (2) 実施内容

対象者	区内小学生・中学生、近隣の子どもたち
実施日時	令和7年11月9日（日）午前10時～午後4時
場 所	西成区民センター
内 容	西成区内を中心とした近隣区の21社19ブースが出展し、ワークショップを開催。

**13. 帰国・来日等のこどものコミュニケーションサポート事業** **校長経営戦略支援予算(区担当教育次長執行枠)**  
(令和7年度 予算額 2,114千円)

(1)事業概要

帰国・来日等の児童生徒で、学校生活において日本の生活習慣等に支援が必要な児童生徒に対し支援を行う「帰国・来日等のこどものコミュニケーションサポーター」を区内小中学校に配置することにより、支援対象者の学校生活の支援及び周囲の児童生徒への理解促進を行う。

(2)実施内容

活動実績に応じて、サポーターに報償金（1時間あたり 1,200円）を支給する。また、1回の活動あたり1,500円を上限に交通費を支給する。

(3)進捗状況

現在活動しているサポーター数及び活動実績（10月末現在）

- ・全校合計 18名、1,110時間

**14. 小・中学校サポーター登録事業** **区長裁量予算**

(令和7年度 予算額 0千円)※予算額0千円であるが、区長裁量事業として実施

(1)事業概要

各学校で活動していただけるサポーターの情報を西成区役所で募集・登録し、各学校へ紹介する。

(2)その他

大阪市と連携協定を結んでいる(株)YOLO JAPANの外国人求人メディア(YOLO WORK)に帰国・来日等こどものコミュニケーションサポーターを募集しており、今後も引き続き掲載していく予定。

(3)進捗状況

紹介実績（10月末現在）

- ・区低学年サポーター 2名  
（上記2名を含む現在活動しているサポーター数 33名）
- ・帰国・来日等こどものコミュニケーションサポーター 11名  
（上記11名を含む現在活動しているサポーター数 18名）